

言語聴覚士とは

話す、聞く、表現する、食べるといった普段何気なく行っていて、誰でもごく自然と思えることが、病気や事故、加齢などで不自由になることがあります。また、生まれつきの障害で困っている方もいます。



こうした会話や食事(とくに飲み込む動作)に関する機能を向上、回復(リハビリ)をお手伝いするお仕事



具体的には、以下のような仕事を行います

小児領域では

- ・発達や発育の理由から言葉の発音が苦手なお子様
- ・唇顎口蓋裂などにより言葉の発音が苦手なお子様

成人領域では

- ・事故や口腔内の手術を経験し、発音が困難な方
- ・病気などの影響で、発音や嚥下が困難な方
- ・加齢により嚥下機能が低下した方

に対して機能を向上、回復をはかること

言語聴覚士はこうした問題の本質や発現メカニズムを明らかにし、対処法を見出すために検査・評価を実施し、必要に応じて訓練、指導、助言、その他の援助を行う専門職です。更に医師や歯科医師の指示のもと、嚥下訓練や人工内耳の調整なども行います。

(日本言語聴覚士協会HPより)



当院と言語聴覚士との連携

当院は言語聴覚士と連携し発音や嚥下の治療が必要な患者様には積極的に言語聴覚士を御紹介しております。お子様、成人に関わらず言葉の発音や嚥下(飲み込む動作)、聴覚についてお困りの方は院長へ御相談ください。